

全国ダイバーシティネットワーク シンポジウムのご案内

【日時】2019年12月6日（金）14:00～17:00

【場所】一橋講堂（東京都千代田区一ツ橋 2-1-2 学術総合センター内）

【行事名】文部科学省科学技術人材育成費補助事業

ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（全国ネットワーク中核機関（群））

第2回全国ダイバーシティネットワークシンポジウム

【題名】女性研究者が輝く近未来を創る

【内容】

1. 基調講演「イノベティブな国になるために
～産学官で進めるダイバーシティ」梶原ゆみ子氏
（総合科学技術・イノベーション会議 議員；富士
通株式会社 理事）
2. 全国8ブロックからの活動報告

【主催】大阪大学、東京農工大学、日本アイ・ビー・
エム株式会社

【開催担当】東京農工大学

【関連情報】

http://tokyo-diversity.jp/wp-content/uploads/2019/10/第2回全国シンポ_チラシ20191206.pdf

【申込方法】http://web.tuat.ac.jp/~tuatgir/diversity/sympo_form.html

（申込締切日は過ぎていますがまだアクセスは可能です）

【対象】どなたでも参加できます

文部科学省科学技術人材育成費補助事業
ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（全国ネットワーク中核機関（群））

第2回
全国ダイバーシティ
ネットワーク
シンポジウム

女性研究者が輝く近未来を創る

2019.12.6 (FRI) 14:00～17:00
開場13:30～
@一橋講堂 東京都千代田区一ツ橋 2-1-2 学術総合センター内

1. 基調講演
イノベティブな国になるために
～産学官で進めるダイバーシティ～
梶原 ゆみ子 氏
総合科学技術・イノベーション会議 議員
富士通株式会社 理事

2. 全国8ブロックからの活動報告
北海道ブロック 東北ブロック 関東ブロック 甲信越ブロック
北陸ブロック 近畿ブロック 中国・四国ブロック 九州・沖縄ブロック

参加費無料 どなたでも参加できます
(徴収金額 3,000円)
申込締切：11月18日(月)
※参加申込の締切は厳密にご確認ください。

【お問い合わせ】東京農工大学 女性未来育成機構
TEL:042-388-7362 E-mail: josejim@ml.tuat.ac.jp
主催：大阪大学、東京農工大学、日本アイ・ビー・エム株式会社
開催担当：東京農工大学

OPeNeD 大阪大学
TAT 東京農工大学
IBM

イベント情報

■ つくば市男女共同参画フォーラム（茨城県） ■

つくばミンナのつどい2019

【日時】 2019年12月14日（土） 10:00~13:00（開場 9:30）

【場所】 つくばカピオ（茨城県つくば市竹園1-10-1）

【行事名】 つくば市男女共同参画フォーラム

つくばミンナのつどい2019

【内容】

- ・ 講演「未来を拓く主役は私～女性活躍社会実現のために～」木場弘子氏（フリーキャスター／千葉大学客員教授）
- ・ 男女共同参画推進団体による活動状況照会／パネル展示
- ・ 交流タイム ほか

【主催】 つくば市男女共同参画推進フォーラム実行委員会

【関連情報】

<https://www.city.tsukuba.lg.jp/kankobunka/event/1008317.html>

【申込方法】 上記URLより申し込みが必要です（入場無料、申込期限：12月11日（水））



セミナー開催報告

2019年10月4日（金）に森林機構・森林総合研究所（つくば市）において、令和元年度労働衛生週間講演会・第30回エンカレッジ推進セミナーを開催しました。講師は産業衛生専門医・指導医の友常祐介先生、演題を「職場におけるメンタルヘルスクエア～自己への気づきをセルフケアに活かす～」として、ワークを含めて1時間半にわたってお話をいただきました。この講演会は10月1～7日までの「全国労働衛生週間」に合わせ、森林総研の職員課とダイバーシティ推進室が共同で開催したものです。以下に簡単に紹介します。

1. 職場の健康管理が重要な理由

健康問題による休業者が増加すると、労働力が失われるだけでなく、周囲への負担が増し生産性の低下につながります。休んでいる人のケアで管理職の精神的・物理的負担が増し、周囲の労働者は思うように業務が進まないことでモチベーションが下がるだけでなく、二次的に健康問題を発生することもあります。労災認定や労働裁判になれば企業のイメージが低下します。メンタル不調での労災認定は判断が難しいのですが、例えば一定の労働時間の後に不調が生じるなど、



職場の配慮とリンクしやすい結果に対しては認定されやすいそうです。

2. 産業保健（産業医）活動の役割

働く人（健康）とその職場（雰囲気、モチベーション、生産性）を守るのが産業医の役目です。産業医は係争や風評などに対するリスク管理も行います。健康に配慮するこ

とで、健康を守るだけでなく生産性も上がります。健康問題のために従来できていたことができなくなった人に対し、産業医は主治医から情報を得たり、職場からはどんな仕事をしているのか、人事異動の情報などを聞いたりして、働く人と職場の間の交通整理をして両者を支援します。

3. 職場のメンタルヘルス対策－1次～2次予防－

一次予防として発症予防、二次予防として早期発見・早期対応、三次予防として再発しないための円滑な職場復帰があります。早期発見のために誰でもできることは、周囲の同僚・部下の変化に「気づく」ことです。「いつもと違うな」「最近どうも変だな?」と「気づく」ことは、一緒に働いているからこそわかる強みです。「気づき」が継続していたら、声をかけてみます。急にではなく、話を聞く日を翌日や週明けに設定すると、整理して話やすくなるそうです。それでも心配な状況が解消されなときは、相談窓口へ「あなたの心配事」として相談したり、医療機関へつなげたりします。レッテル貼りをしてはいけません。

4. エゴグラムによる自己への気づき

ストレスに対してどう反応するかは人によって違います。この講演ではエゴグラムという自己分析方法を使って、ストレスに対する自分の考え方のせやパターンに「気づく」ためのワークを行いました。自分と相手の考え方の違いを知ること、できるかぎり人間関係によるストレスを軽減することができます。また、自分に足りない部分を引き上げようとすることで自己を向上させ、より良い人間関係作りの道を開くことができます。

この講演会に参加できなかった方も、ぜひエゴグラムによって自分を理解し、セルフコントロールに活かしてみたいかがでしょうか。（DSO事務局@森林総研）

DSO参加機関 公開イベントのご案内

■ 土木研究所 ■

ワークライフバランス講習会

「個人も組織も成長するワークライフバランス戦略 ～生産性の高い働き方の実現～」

【日時】 2019年12月18日 (水) 14:00~15:30

【行事名】 ワークライフバランス講習会

【題名】 個人も組織も成長するワークライフバランス戦略 ～生産性の高い働き方の実現～

【講師】 宮原 淳二氏 (株式会社東レ経営研究所ダイバーシティ&ワークライフバランス推進部長)

【場所】 国立研究開発法人土木研究所 ICHARM棟 1階講堂

【申込方法】 12月11日 (水) までに件名「【所属機関名】12/18ワークライフバランス講習会参加申込」とし、①氏名②所属③連絡先を

saitou-k573bt@pwri.go.jpまでメールにてお申し込みください。

【開催機関】 国立研究開発法人土木研究所

【問合せ先】 国立研究開発法人土木研究所 総務部総務課 齊藤 TEL029-879-6700

(mail : saitou-k573bt@pwri.go.jp)

【対象】 DSO参加機関のみ対象



■ 物質・材料研究機構 ■

男女共同参画セミナー

**リーダーのための「アンコンシャスバイアス」セミナー
「ひとりひとりがイキイキと活躍するために必要なこと」**

【日時】 2020年1月7日 (火) 15:30~17:00

【行事名】 男女共同参画セミナー

【題名】 リーダーのための「アンコンシャスバイアス」セミナー～ひとりひとりがイキイキと活躍するために必要なこと～

【講師】 守屋 智敬氏 (社団法人アンコンシャスバイアス研究所 代表理事)

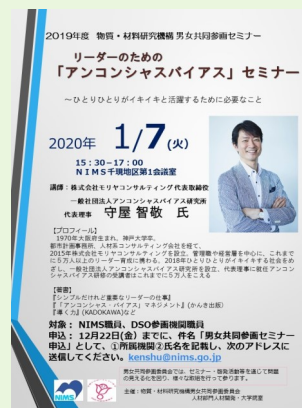
【場所】 国立研究開発法人 物質・材料研究機構 千現地区研究本館 第1会議室

【申込方法】 メールでお申し込みください。 kenshu@nims.go.jp

【開催機関】 国立研究開発法人 物質・材料研究機構

【問合せ先】 人材部門人材開発・大学院室 (mail : kenshu@nims.go.jp)

【対象】 DSO参加機関のみ対象



Pick up

今回から今年度DSO事務局独自のコラム「Pick up」を始めます。ウェブサイトや新聞などで気になったダイバーシティに関係する記事や特集を取り上げ、その出典とともに要点や感想を交えて皆様を紹介したいと思います（不定期掲載です）。

まず第一回目は東大初の女性教授で社会人類学者の中根千枝先生（名誉教授）のインタビューです（聞き手：河合香織さん、ノンフィクション作家）。題して「序列ある社会は本来、女性にはプラス」、今年6月にYahoo!ニュース特集に掲載されました（URLは文末）。

この記事を読んでまず目を引いたのが、「日本は歴史上『女性は学問をしなくていい』という思想が強かった」というくだりです。中根先生によれば、このことが日本では諸外国に比べて要職に就く女性の割合が低い要因である。家（親）の考え方で女性たちは若いうちに「翼を折られて」しまい、学を身に付ける機会を逸したため、組織や社会を背負って立つような人材が出てこなかった、とのこと。確かに周囲を見渡すと女性管理職が少なく、たびたび仲間内で話題となっています。その根本的な要因をこのように指摘され、ストーンと腑に落ちる部分もあります。その一方で、昨今の世の中を見ていると、こうした状況に徐々にですが変化が見られるようになってきている気もします。だからこそ「ダイバーシティ推進」なんだな、と改めて思う次第です。

もう一つ、女性研究者についてですが、中根先生は「日本の女性は研究に対する心構えが弱いように感じる」と指摘している点が気になりました。諸外国の女性たちはそれぞれの抱える困難を何とか克服しようという「強さ」を持ち合わせている、とのこと。これは研究者に限らないかもしれませんが、日本ではたとえその「強さ」を持っていたとしても、なかなかそれが発揮できる環境にないのかもしれませんが。その点についても今後こうした「環境」を社会の中で整えていくために、ダイバーシティを推進する部門や組織の役割がいかに重要であるか、再認識する切っ掛けとなりました。

URL : <https://news.yahoo.co.jp/feature/1354> (要ログイン)

【DSO事務局@森林総研】

ニュースレターへ記事をご投稿ください！

「DSO Newsletter」は各DSO参加機関へ、それぞれで働く方へ、また広く外部に向けて情報発信するツールとして原則毎月最終週に発行しております。掲載を希望する記事がありましたら、数行の記事でも結構ですのでぜひお寄せください。

- ・シンポジウムやセミナー、講演会など、イベントのお知らせ
- ・最近行なわれたイベント報告、あるいは参加報告
- ・最近取組中のこと
- ・その他、お役立ちや関連情報

宛先 : dso-secretary@ffpri.affrc.go.jp

参加機関内外への当Newsletterの紹介も歓迎いたします。バックナンバーはDSOホームページにてご覧いただけます。

ダイバーシティサポートオフィスのご案内

ダイバーシティ・サポート・オフィス（DSO）は、研究教育20機関をメンバーとして、平成19年より男女共同参画などダイバーシティに関わる活動を連携して推進しています。主な活動の一つとして、参加機関相互のイベント等の機会提供、情報交換を行なっています。当初は科学技術振興調整費の支援を受けてスタートしましたが、現在はイコールパートナーシップでメンバーが対等に運営する、より開かれたDSOとして活動しています。

*DSOメンバー：産業技術総合研究所、森林研究・整備機構、物質・材料研究機構、農業・食品産業技術総合研究機構、千葉大学、筑波大学、神戸大学、土木研究所、国立環境研究所、国際農林水産業研究センター、防災科学技術研究所、高エネルギー加速器研究機構、理化学研究所、宮崎大学、上智学院、岡山大学、宇宙航空研究開発機構、大阪大学、量子科学技術研究開発機構、建築研究所（加入順）